

事業所名 ホームケアー佐保作成日: 平成 23年 7月 1日**2 目標達成計画**

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	安全確保のためと利用者のやりたいことを制御する。利用者の変化に職員の気づきが十分ではない	職員が些細なことでも気付けるようになり、気付かない虐待や身体拘束。プライバシー保護が適切に支援できるよう努める	安全の為の制御ではなく「本人のしたいこと」をいかに安全にして頂けるよう援助するか。細やかに気づき職員全員が情報の共有を行い研修していく	6ヶ月
2	10	利用者、家族の方の意見・要望を把握が十分でない	利用者、家族の方へ開かれたホームを提供	職員から日々の生活や気づきを記入させて頂き、家族の方にも要望や意見を記入して頂くことにより細かく連携が取れるように努める(連絡ノート活用) 家族の方から意見や要望を伝えてもらいやすい雰囲気作りを行う	3ヶ月
3	23	思いや意向の把握 日常会話から暮らし方の希望を把握しているが、それをアセスメントシートに即刻追記して情報を共有することができていない	利用者の思いを把握し職員間で共有する事でその方にあったサービスを提供する	日常会話の中で態度や表情から思いを聴き逃さず把握し介護記録に記入する。 職員間で共有する事により良い支援を行えるよう努める	3ヶ月
4	26	本人の生きがいや生活歴が反映された介護計画を作成する為に職員間で話し合いの場が満足にもてていない	職員間で情報の共有をし、利用者、家族にとって良い介護計画の作成	日々の介護の中で本人の生きがいや生活歴の中から思いを把握し、日々の記録やカンファレンスで、見つけ出し介護計画書に反映させる。	3ヶ月
5	4	運営推進会議に家族の方の参加が難しい状況である	運営推進会議に家族様に参加して頂けるよう努める	年6回の運営推進会議に1回でも参加して頂き意見交換や要望を生々の声で聞かせて頂き、日常生活に反映して行けるように努める	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい